

科研費採択者一覧

年度		研究代表者		研究種目	研究課題	研究期間
2025 (R07)	新規	心理学	武田瑞穂	基盤(C)	注意欠如・多動症への定期的な有酸素運動の効果検証 ―自律神経活動への影響―	2025-2027
	新規	社会情報デザイン学科	北原俊一	基盤(C)	ヒトとブランコの相互作用を記述する理論モデルの構築	2025-2027
2024 (R06)	新規	社会情報デザイン学科	大友由紀子	基盤(C)	環境保全型農業先進国にみる女性農場経営者育成のための支援施策	2024-2026
	新規	児童教育学	中西郁	基盤(C)	放課後等ディサービス事業のインクルーシブな取組に関する研究	2024-2026
	新規	心理学	柏木睦月	基盤(C)	戦後日本における養護教諭の専門性形成に関する歴史的研究	2024-2026
	新規	健康栄養学科	若葉京良	若手	中年者の睡眠を改善する在宅運動プログラムの開発：睡眠時間・質・満足度に着目して	2024-2025
2023 (R05)	新規	人間福祉学科	二瓶さやか	基盤(C)	グローバル化時代における多文化共生介護実践のあり方に関する方法論的研究	2023-2026
	新規	健康栄養学科	林典子	基盤(C)	小学校の調理実習における食物アレルギー対応実践モデル構築のための研究	2023-2025
	新規	文芸文化学科	高橋秀子	若手	河原院周辺歌人の和歌史的意味の研究	2023-2027
	新規	食物栄養学科	中岡加奈絵	若手	粘膜防御因子としての小腸型アルカリホスファターゼの利用に関する検討	2023-2027
	新規	人間福祉学科	亀崎美沙子	研究成果 公開促進費	子育て支援における保育者の葛藤と専門職倫理―「子どもの最善の利益」を保障するしくみの構築にむけて―	2023
2022 (R04)	新規	心理学	池田まさみ	基盤(B)	公共・倫理の学びを拓く心理学教育：「高大連携型クラウドサイエンス」の構築	2022-2025
	新規	健康栄養学科	伊藤美穂	基盤(C)	食文化的視点からみた学校給食献立の検討	2022-2024
	新規	心理学	加藤陽子	基盤(C)	小中学生における発達段階別・登校維持構造の検討と自律的登校支援プログラムの開発	2022-2025
	新規	幼児教育学	加藤則子	基盤(C)	親支援プログラム受講によって保護者は地域の子育て支援資源と積極的につながれるか	2022-2025
	新規	食品開発学科	小林三智子	基盤(C)	飲料の苦味成分と味覚感受性の関係および苦味強度と嗜好性に関する研究	2022-2024
	新規	健康栄養学科	小林亘	若手	チコリー由来機能性因子の構造特異的な吸収特性および生理活性機序の解明	2022-2024
2021 (R03)	新規	児童教育学	狩野浩二	基盤(C)	授業研究を「核」とする学校づくり運動に関する研究	2021-2023
	新規	人間福祉学科	亀崎美沙子	基盤(C)	保育における倫理的思考決定モデルに関する基礎研究	2021-2023
	新規	名誉教授 研究所研究員	伊藤恵子	基盤(C)	ナチュラルサポーターによる自閉スペクトラム症児への日常的支援モデルの構築	2021-2023
	新規	社会情報デザイン学科	鳥越信吾	若手	「待機」の社会学的研究	2021-2023
	新規	食品開発学科	梶野涼子	若手	各種家禽卵の有効活用に向けて―調理加工特性の検討―	2021-2023
2020 (R02)	新規	社会情報デザイン学科	加藤亮介	基盤(C)	心の管理能力を育成するレジリエンス・フォーカスト・アクティブラーニングの開発研究	2020-2022
	新規	文芸文化学科	石川敏史	基盤(C)	戦後日本移動図書館の連続性と断絶性：1970年代の市立図書館を媒介として	2020-2022
	新規	心理学	山下倫美	基盤(C)	父親を対象とした新たな出生前教育プログラムの開発	2020-2023
	新規	心理学	永作 稔	基盤(C)	教職員による学生の自律性向上―学問とキャリアをつなぐ理論モデルと面接技法の開発―	2020-2023
	新規	心理学	布施晴美	基盤(C)	多胎家庭支援における行政機関等と多胎育児ピアサポーターとの連携と協働について	2020-2022
	新規	食品開発学科	中村禎子	基盤(C)	妊娠期の母体の腸内細菌由来水素ガスが胎児の正常な発生・分化の維持へ及ぼす影響	2020-2022
	新規	健康栄養学科	相馬満利	若手	三次元相同モデルを用いた体の「かたち」の多様性を読み解く	2020-2022
	新規	食品開発学科	倉若美咲樹	若手	肝細胞における細胞外ビルビン酸のグルコース利用促進作用とその機構	2020-2022
	新規	食品開発学科	後田ちひろ	若手	茶カテキンの腸内環境改善作用を介した抗肥満作用とその機序の解析	2020-2023

年度		研究代表者		研究種目	研究課題	研究期間
2019 (H31)	新規	生活情報学科	大友由紀子	基盤(C)	欧州の先進事例からみた女性の農家継承と土地所有—オーストリアの事例より—	2019-2021
	新規	健康栄養学科	有田安那	基盤(C)	新規亜鉛欠乏回復モデルの有効性～糖・脂質代謝における亜鉛の機能解析を中心に～	2019-2021
	新規	食物栄養学科	松本晃裕	基盤(C)	サッカー中の心拍出量の測定とGPS位置情報で測定した試合中の走能力との関連の解明	2019-2021
	新規	人間発達心理学科	平田智秋	基盤(C)	VRを用いた周期運動における見えない力の検討	2019-2022
	新規	食物栄養学科	金高有里	基盤(C)	胎生期の葉酸過剰による代謝異常誘導機構：腸バリア機能とDOHaDとの関連	2019-2021
	新規	人間福祉学科	二瓶さやか	若手	地域共生社会の実現に向けた多文化共生介護実践論の構築	2019-2021
	新規	児童教育学科	邊見 信	若手	国民学校期における放送教育の歴史的研究	2019-2021
	新規	幼児教育学科	呂 小耘	若手	5歳児クラスにおける絵本の読み聞かせと保育者の援助過程の検討	2019-2021
	新規	食物栄養学科	山崎優子	若手	食品添加物の考え方に基づいたハーブサプリメント製品のリスク評価法の確立	2019-2021
2018 (H30)	新規	幼児教育学科	加藤則子	基盤(C)	地域における子育て支援プログラムの遠隔実施の効果に関する検証	2018-2020
	新規	幼児教育学科	潮谷恵美	基盤(C)	成長に応じるスーパービジョンモデルとバイザー研修・支援システムの構築に関する研究	2018-2021
	新規	健康栄養学科	長尾昭彦	基盤(C)	キサントフィルの蓄積・分解を調節する代謝機構の解明	2018-2020
	新規	食物栄養学科	名倉秀子	基盤(C)	給食の食塩相当量の低減化を目指す献立構成要素の品質における基礎資料の構築	2018-2020
	新規	人間福祉学科	亀崎美沙子	若手	子育て支援における倫理的意思決定モデルの開発に関する研究	2018-2020
	新規	児童教育学科	菅谷麻衣	研究活動スタート支援	有害・不快言論の規制の限界—セカライア・チェイフィーと低価値言論の規制根拠—	2017-2018
2017 (H29)	新規	人間発達心理学科	池田まさみ	基盤(C)	クリティカルシンキングを核とした“モラルシンキング”の構築：小中学生の推論力育成	2017-2019
	新規	文芸文化学科	石川敏史	基盤(C)	地域と伴走して教育文化運動へつないだ戦後移動図書館活動の実証的研究	2017-2019
	新規	人間発達心理学科	伊藤恵子	基盤(C)	ナチュラルサポーターのための自閉スペクトラム症児の語用論的能力に関する実証研究	2017-2019
	新規	幼児教育学科	上垣内伸子	基盤(C)	0～3歳児の「学びの芽生え」を育む保育モデルの検討：海外の保育実践分析からの示唆	2017-2019
	新規	人間発達心理学科	齋藤千景	基盤(C)	養護教諭の専門性向上を目指した養護実習スタンダードモデルの開発	2017-2019
	新規	食物栄養学科	中村禎子	基盤(C)	腸内細菌が難消化吸収性糖質から産生する水素ガスの健康影響とその機序に関する研究	2017-2019
	新規	人間生活学研究科 食物栄養学科	長澤伸江	基盤(C)	自立度が異なる地域在住高齢者の身体機能の経年変化および運動・栄養プログラムの検討	2017-2019
	新規	人間福祉学科	鍛冶智子	若手(B)	知的障害者と親の相互作用に着目した地域自立生活をめぐる意識形成の多様性の研究	2017-2019
2016 (H28)	新規	人間生活学研究科 食物栄養学科	井手隆	基盤(C)	病態モデルによる食品成分の相互作用による相乗的脂質代謝改善効果の分子基盤の解明	2016-2018
	新規	生活情報学科	大友由紀子	基盤(C)	農村女性のキャリア形成にみる世代変化—直系系家族50年の反復調査より—	2016-2018
	新規	幼児教育学科	長田瑞恵	基盤(C)	自称詞の獲得と使い分けの発達：自己概念と心的用語との関連から	2016-2018
	新規	食物栄養学科	松本晃裕	基盤(C)	ウェイトリフティング選手のバーベル挙上などの運動中の心拍出量と心仕事量の検討	2016-2018
	新規	幼児教育学科	向井美穂	基盤(C)	親の主体性を育む子育て支援：「対話と傾聴」を基本とするネウボラナスからの示唆	2016-2018
	新規	メディアコミュニケーション学科	福島亜理子	基盤(C)	可聴域を超える超高周波成分の周波数が脳と心に及ぼす影響の研究	2016-2018